



Diseases of Akita giant rabbits

Most of GR had infectious diseases, especially respiratory infections (Table 3, Fig. 7), so it was difficult constantly to supply them to research laboratory as they were.

Sex	Antibody		
	B.B	P.M	B.B+P.M
♂	17/20 (85.0%)	9/20 (45.0%)	9/20 (45.0%)
♀	21/25 (84.0%)	11/25 (44.0%)	11/25 (44.0%)
SUM	38/45 (84.4%)	20/45 (44.4%)	20/45 (44.4%)

B.B.: Brecht's bronchopneumonia
P.M.: Pasteurella multocida

Fig. 7

JW-AKT作成方法

- 帝王切開・単胎方式
- 受精卵の移植(図. 11)
- JW-AKT の自然分娩
- 農家で採取した精液の人工授精(図. 12, 13)

図. 11

農家で自然交配した大型ウサギの卵巣の受精卵を卵管から採取

図. 12

大型ウサギの精液を人工授精で採取

図. 13

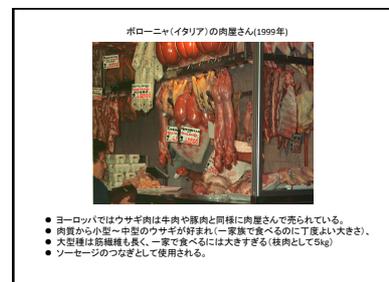
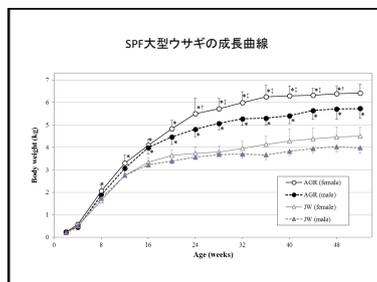
採取した精液をCO2 bufferで希釈し JW-AKT に人工授精

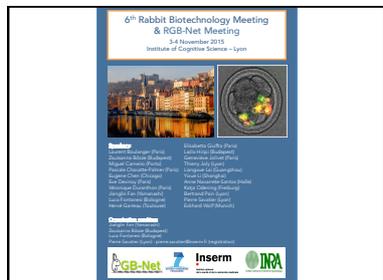
Retrial of producing JW-AKT

- SPF rabbit room was secured in March 2009 as results of reconstruction and expansion of animal facilities (Fig. 9).
- Large cages with W553xD653xH1450mm (TECNIPLAST, JAPAN co., Ltd, Tokyo) were used for giant rabbits (Fig. 10).
- Retrial of producing SPF giant rabbits started from Apple 2010.
- Rabbits were fed Labo R stock (NOSAN) and drunk by Automatic watering system

Fig. 9

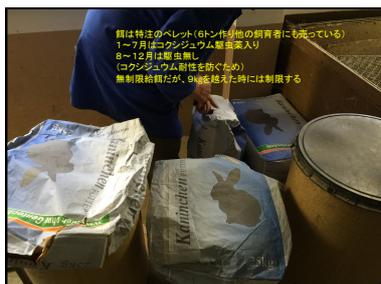
Fig. 10



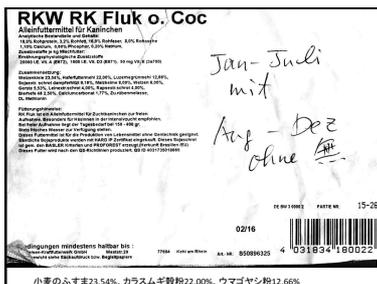




床敷/小麦の茎



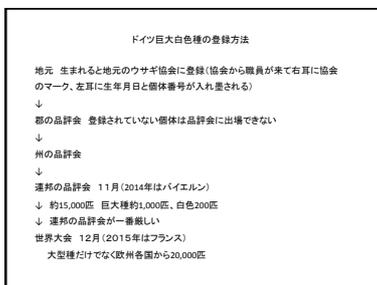
餌は特注のペレット(6トン作製地の飼育者にも売っている)
1〜7月はコナシウム製薬家入り
8〜12月は鯉魚油(コナシウム飼育性を防ぐため)
無制限給餌だが、9%を超えた時には制限する



小麦のふすま23.54%, カラスムギ穀粉22.00%, ウマゴヤシ粉12.66%



繊維性の餌: 干し草



ドイツ巨大白色種の登録方法

地元 生まれると地元のウサギ協会に登録(協会から職員が来て右耳に協会のマーク、左耳に生年月日と個体番号が入れ墨される)
↓
郡の品評会 登録されていない個体は品評会に出場できない
↓
州の品評会
↓
連邦の品評会 11月(2014年はバイエルン)
↓ 約15,000匹 巨大種約1,000匹、白色200匹
↓ 連邦の品評会が一番難しい
世界大会 12月(2015年はフランス)
大型種だけでなく欧州各国から20,000匹



品評会(見本)

- 9g以下であること
(大きくなりすぎる女の子を産まふしたり、母乳放棄したりすること多い。)
- (動物福祉も考慮されている。)
- 前足を伸ばして直立していること
(お腹が地面に擦れないため)
- 喉の下にたるみ(二重顎)も評価下がる



その他

食用としては8kgで40ユーロ(約5,000円)
 種親としてはみずも100~150ユーロ(13,000~20,000円)

ブリーダーの高齢化
 ブリーダーの後継者不足
 品評会への登録がインターネット制になったため、登録者が半減

ドイツ巨大白色種の飼育方法

ブンケルさん



牛の飼育場所の脇木の箱に牧草を敷いている。出産用の巣箱は作らない。餌はアサの実(毛艶を良くする)ビール酵母、ひまわりの種、ペレット、自分の手で育てた干し草(購入する干し草は農薬が心配なのでやっていない。)



若手ウサギ農家ブンケルさん



10ヶ月で6.7kg



11月3日
 Rabbit Biotechnology Meeting



Dinner



大型ウサギの実験動物化

世界的な動物保護 動物管理センターからのイ
ンスタレーションの私生活の私生活の私生活

イヌ・ネコに代る代替動物の開発

Deutsche Riesen JW-ACT1833-1 秋田大型ウサギ
CONV動物 種立

Deutsche Riesen 改良名を付けた 秋田大型ウサギの
の親子 人工繁殖 親子

実験動物としてのSPF大型ウサギの種立

SPF(自家複製)動物(複製)に代る動物(自家複製)に代る動物(自家複製)

- 今回の調査で感じたこと
- 欧州ではウサギを日常的に食べる文化もあることから、ウサギは多くの人々に飼育されている。
 - 特に大型ウサギは人気があり、飼育する愛好家が多い(最近では減っているとのことでしたが)。
 - 郡、州、連邦、世界大会の流れで品評会が行われる。
 - 品評会の権威は地域の協会がしっかりした組織であることによるものであることが強く印象的。